



“高校牛児”の皆さん、こんにちは。和牛甲子園事務局です。
 現在、第8回大会の開催準備を進めています。より良い大会を目指して全力で取り組みますので、一緒に盛り上げていきましょう！

さて、今大会のスローガンは『**みらいへつなぐ高校牛児の輪**』です。和牛を通じて深い絆で結ばれた高校牛児の輪が、新たな畜産の未来を創造し、それぞれの夢を実現するという願いから決定しました。

皆さんがこれまで取り組んできた成果を最高の舞台上で発揮しましょう！



第8回大会開催日程

- 2025年1月16日（木）・17日（金） 全2日間
- 【体験発表会・褒賞式】 品川グランドホール
- 【枝肉勉強会・共励会】 東京食肉市場株式会社

応募スケジュール

2024年
7月10日（水）

2024年
9月6日（金）

2024年
11月8日（金）

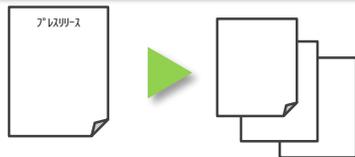
2025年
1月16日・17日

プレスリリース・受付開始

受付締切

出品登録期限

開催



募集要項発表



出品応募表提出



枝肉共励会出品申込書・
体験発表会事前審査資料提出



様式1 出品応募表（7月10日～9月6日締切）

- 出場の確認、出品頭数の確認、連絡先

様式2 枝肉共励会出品申込書（11月8日締切）

- 出品牛名前、性別、個体識別番号、血統 等

様式3 体験発表会事前審査資料（11月8日締切）

- キャッチフレーズ、学校・地域紹介、出品予定牛写真 等

出場校インタビュー

鹿屋農業高等学校



第1号は、第7回大会で総合優勝を果たした「鹿児島県立鹿屋農業高等学校」にインタビューし、先生・高校牛児から第7回大会の感想・第8回大会に向けた意気込みを聞きました！

〔第7回大会の感想〕

■先生・学生は牛が大好きで、牛舎にいる時間・牛と一緒にいる時間は他校に負けていなかったと思う。そこが総合優勝という結果に結びついた。また、今回出品した「誠実号」は地元の方から受精卵をいただき肥育をし、最優秀賞を獲得することができた。「誠実号」は学校の校訓から名付けた。

■牛児・優勝できてとても嬉しかった。交流会では他校生徒の飼育方法を聞き、自分たちはまだ受動的だなと感じた。また、他校生徒から新しい飼育方法のアドバイスをもらうことができた。

〔第8回大会に向けた意気込み〕

■先生…どの牛を出場させても賞を狙えるくらいには仕上がっている。第7回大会は48/50点だったため、脂肪の質（オレイン酸）を改善し満点を目指す取り組みをしている。今年は枝肉部門だけではなく、取り組み部門にも力を入れている。取り
■牛児…2連覇を目指している。枝肉は満点を目指したい。取り組み部門も優勝をして総合優勝をしたい。



【学校紹介】

- 鹿児島県立鹿屋農業高等学校
- 鹿児島県
- 創立：明治28年
- 校訓：誠実・敬愛・力行

第8回大会での活躍も期待しております！

増永校長



【ここがすごいぞ！鹿屋農業高等学校】

■生産コスト削減を目指した地域未利用資源の活用「笹サイレージ」

飼料の価格高騰から、地域の中にある資源を活用したいという思いがあり、「笹サイレージ」の使用が始まった。鹿児島県は竹林面積が全国一位でもある。学校の竹を刈り、機械でパウダー状にして食べさせたところ、肥育牛が好んで食べた。現在は、飼料・敷料に使用している。

■高校牛児主体の飼育

土日祝日含め、毎日休まず朝・昼・夕と高校牛児が給餌・飼育をしている。毎日牛を世話しているため、些細な動きの違いや体調の変化に気づくことができ、素早く対処ができるという。

高校牛児主体の飼育



笹サイレージ



【高校牛児たちに質問】

学校の中で一番好きな場所は？
牛舎！



森元さん

浦崎さん

門原さん

長嶺さん



牛の好きな部分はどこですか？

【次回出場校への質問】

生き物を飼育しているため、一日も手は抜いてはならない。飼育をして出荷・評価までが肥育をすることに対しての責任であることに学んでもらいたい。また、和牛甲子園に出品する候補牛がいることは当たり前ではなく、歴代の先輩たちが地域の方々の助けがあるからということを忘れないでほしい。



篠原先生

【先生から生徒へ
メッセージ】